

「議会改革度調査 2020」 ランキング

県内1位!四国2位!全国30位!

早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度調査 2020」ランキングにおいて、西条市議会が県内1位、四国2位、全国30位にランクインしました。

都道府県や市区町村を含めた 1,404 議会が回答した中、情報共有、住民参画、議会機能強化の 3 分野について評価が行われ、西条市議会は、議会機能強化の分野で全国 20 位と特に高く評価されました。

四国の市議会で全国30位以内にランクインしたのは、西条市議会が初めてとなります。

西条市議会では、これまで、議会活性化推進特別委員会を設置するなど、議会機能の強化と市民 に開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んできました。

以下に、これまでの西条市議会の取組の一部を紹介します。

タブレット端末の導入

タブレット端末を導入し、令和3年3月からペーパレス化を実施しています。

また、タブレット端末を利用し、オンライン研修会や、防災訓練の一環として災害情報収集訓練などを実施しました。



タブレット端末を使用した本会議

所管事務調査の実施

常任委員会は、本会議において付託された 議案などを審査することを主な役割としてい ますが、特定の政策課題の解決や政策立案に 向け、常任委員会が積極的に調査活動を実施 しています。



常任委員会の所管事務調査

議員間討議の実施

議会では、議案について市長などに対する 質問を中心として審議を行っていますが、議 会活性化に係る取組では、議員同士が互いに 意見や考えを引き出し合いながら話し合う議 員間討議を積極的に実施しました。

議会独自の災害対策

西条市議会業務継続計画(BCP)を策定し、 防災訓練を定期的に実施しています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、BCPに新型コロナウイルス感染症などの発生時における対応を追加しました。



本会議場で行った防災訓練

これからも 議会改革に 取り組んで行くけん!

